

### 3 病棟

#### 病棟の特徴

佐賀県総合周産期母子医療センター新生児部門として、  
新生児の入院は「100%断らない」を原則に受け入れています。

(令和6年度入院数 296名)

総病床数は30床でNICU(新生児治療室)12床、GCU(新生児回復室)18床です。

NICUでは早産児・新生児呼吸障害などの児を受け入れ、新生児の命と神経学的予後を守るための急性期治療を行っています。また、正期産児の入院のうち約5~6%は重症新生児仮死であり、脳低体温療法などの高度救急治療を行っています。

GCUでは、急性期治療を終えた児に対して多職種で連携を図りながら成長発達の支援・退院に向けた支援に取り組んでいます。近年、医療技術の進歩や在宅医療の推進により、人工呼吸器や酸素吸入、経管栄養などを必要とする医療的ケア児は増加傾向です。医療的ケア児コーディネーターを中心に医療的ケア児の退院後の生活を予測した退院支援に力を入れています。医療、福祉、保育、教育など関係機関と連携し、地域や在宅で安心して過ごしていけるように切れ目のない支援を目指しています。



